

府中市障害者計画・府中市障害福祉計画策定のための調査 (障害者福祉団体調査)

調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成 27 年 3 月に策定を予定しております「府中市障害者計画・府中市障害福祉計画」の基礎資料とするために、調査を実施します。

この調査は、府中市の障害福祉団体にご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容は、「府中市個人情報保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 25 年 10 月 府中市

記入についてのお願い

1. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
2. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容等を記入してください。
3. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
4. 「その他」に○印をつけられた方は、〔 〕内に具体的な答えを記入してください。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日(月)までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部障害者福祉課 TEL 042 - 335 - 4545

おしらせ

この調査の結果については、平成 26 年 4 月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所障害者福祉課窓口等に設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市障害者計画・府中市障害福祉計画までのスケジュール

府中市障害者計画¹・府中市障害福祉計画²は、この調査結果等を基礎資料とし、市民、学識経験者、障害者福祉団体等から構成された「府中市障害者計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

- 1：障害者のための施策全般に関する基本的な考え方や方向性を定める 6 年間の計画
- 2：障害福祉サービスの必要な量の見込み、その確保策等に関する 3 年間の実施計画

平成 26 年 3 月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成 26 年 4 月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成 26 年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成 27 年 3 月	第 3 期府中市障害者計画・第 4 期府中市障害福祉計画を策定します。

なお、現計画（第 2 期府中市障害者計画・第 3 期府中市障害福祉計画）は、前回の皆様にご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所障害者福祉課窓口や中央図書館等にてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

府中市障害者計画

[府中市ホームページトップページ](#) [市政を身近に](#) [計画](#) [府中市福祉計画](#)
[第 4 編 障害者計画・障害福祉計画（第 2 期）](#)

府中市障害福祉計画（第 3 期）

[府中市ホームページトップページ](#) [市政を身近に](#) [計画](#) [府中市障害者計画](#)
[府中市障害福祉計画（第 3 期）](#)

貴団体についておたずねします

問 1 貴団体の名称、連絡先等についておたずねします。

団体名		
代表者氏名		
連絡先	TEL	
	FAX	
	Email	
ホームページ URL		http://www.
事務所等住所		〒183- 府中市

問 2 貴団体の平成 25 年 9 月 1 日時点の会員数、運営に携わっている人数を記入してください。

(N=9)

会員数 平均 93.3 人

運営に携わっている人数 平均 9.3 人

問 3 貴団体の活動拠点は決まっていますか。(1 つに ○)

(N=9)

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1 . 決まっている → 問 3 - 1 にお答えください | 100.0 % |
| 2 . 決まっていない → 問 4 へ進む | 0.0 % |

問 3-1 問 3 で「 1 . 決まっている」と答えた方におたずねします。
活動拠点はどこですか。具体的にお書きください。

問4 貴団体の運営にかかわる経費の収入源は何ですか。次の項目の中から、収入が多いものから順に、へ番号を記入してください。

(それぞれ番号を1つ記入)

(N=9)	最も多いもの	2 番目	3 番目
1. 市からの補助金	0.0%	88.8%	0.0%
2. 市以外からの補助金〔具体的に： 〕	0.0%	0.0%	44.4%
3. 寄付金	33.3%	0.0%	22.2%
4. 会員からの会費	66.6%	0.0%	11.1%
5. 事業収入〔具体的に： 〕	0.0%	0.0%	0.0%
6. その他〔具体的に： 〕	0.0%	0.0%	11.1%
無回答	0.0%	11.1%	11.1%

最も収入が多いもの(番号を1つ記入)

2 番目に収入が多いもの(番号を1つ記入)

3 番目に収入が多いもの(番号を1つ記入)

問5 活動する上で困っていることはありますか。(いくつでも。)

(N=9)

1. 事業の企画	0.0%
2. 運営方法	22.2%
3. 活動場所の確保	44.4%
4. 会員の意識	55.5%
5. 後継者問題	77.7%
6. 社会の認識	33.3%
7. ネットワークづくり	11.1%
8. 行政支援	22.2%
9. 財政的支援	77.7%
10. 人的支援	22.2%
11. その他〔具体的に： 〕	11.1%
12. 特にない	0.0%
無回答	0.0%

府中市の障害福祉施策についておたずねします

問 6 貴団体では、障害者福祉に関する市の相談体制についてどのようなことを望んでおられますか。

- ・ ゆくゆくは、精神障害者相談員制度の構築が期待されています。精神障害者のピアカウンセラーの育成に取り組むことが求められています。【府中市精神障害者を守る家族会】
- ・ 府中市をはじめ多くの行政・民間機関で相談業務を行っています。そのいずれもが、相談者の要望に応えるものとはなっていないとの声があります。市の相談については、完結できる体制をとってほしいと思います。【府中市手をつなぐ親の会】
- ・ 相談内容によって、市の相談窓口を分かりやすくする。施設、高齢者、障害者等の社会参加支援を。【府中市身体障害者福祉協会】
- ・ 希望者には訪問相談して欲しい。【府中自閉症児・者親の会】
- ・ 単純な課題の問題は少なくなって、最近は複合的な課題・問題もかかえている障害者も多いです。そのため どの窓口相談に行けば良いか、分かりやすくすること。窓口どうしの連携をはかること。(縦割りにならないようにする)が必要と考えます。【府中市聴覚障害者協会】
- ・ 個々の相談に対し必要な情報の提供していただき個々の状況に合わせた迅速かつ柔軟な対応を望んでいます。【府中進行性筋委縮症協会】
- ・ 各機関の連携によるワンストップサービスの確立を期待します。例：副籍で、普通校に行くための支援(階段など)を相談したところ福祉課、教育委員会、社協、相談支援センターと次々問い合わせることになったとの事。各担当者は真面目に対応しているが、問題のとらえ方がバラバラで、当事者が調整することになったそうです。各セクションが問題意識を持っていれば、こうした相談事項は自立支援協議会などに上がってくるのでは・・・と思います。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・ 高齢者の集まりの為、介護保険の利用に対する相談が多いので、相談時の対応で本人がよい状態になる体制にしてほしい。【府中きすげの会】
- ・ 書類等の提出対応には、丁寧、親切でとても満足しています。しかし、認知症とパーキンソン病の二つの難病を持った夫を抱えた方がどうしたらよいのか途方にくれ、市の窓口の専門担当者ならいろいろと教えてくれるだろうと思い行ったが、納得いく説明を得なかった。職員の方々は、二十代・三十代の若い人が多く、経験がないから説明が杓子定規で、事務的でとても満足できなかった。もっと相談に行った者の目線で話し、相手を理解してあげて欲しい。【府中市パーキンソン病友の会(のぞみ会)】

問7 震災などの災害時に、障害者の方々が安心して過ごせるために、どのような支援が必要だとお考えですか。避難所の問題、救出方法の問題など、どのようなことでもけっこうですのでご記入ください。

- ・ 人とあまり接触しないですむ静かな避難場所が必要です。 避難所には、向精神薬がすぐ入手できる体制を整えておく必要があります。 訴えをていねいに聴いて、心を落ち着かせる役割の人が必要です。精神保健福祉支援の専門性が求められます。【府中市精神障害者を
守る家族会】
- ・ 多様な障害者に対応できるような個別のものはできないとしても、各避難所内に福祉の
ブースの設置 市内にある障害者施設を、その施設の主たる障害者を対象とした避難場所と
して開放する。【府中市手をつなぐ親の会】
- ・ 発災時に一人でも多くの命を救うためには、発災直後の近隣住民同士の助け合いが大きな
効果を発揮し障害者、高齢者、外国人、難病患者、乳幼児、妊産婦等の災害時要援護者に対
しては、情報把握、避難生活手段の確保などの支援が必要だと思います。【府中市身体障害者
福祉協会】
- ・ 自閉症の人の避難場所をあらかじめ決めて、周知させて欲しい。(1次避難所→2次避難所
へ、ということは無しにして欲しい。)(例えば慣れた場所に、特別養護学校、作業所とか)【府
中自閉症児・者親の会】
- ・ 地域の人々に障害があることを知って頂くのは思ったよりも大変なことです。その為、
要援護者名簿の役割が非常に重要と考えています。現在の災害時要援護者名簿は、登録可能
者に制限があるので、登録条件を見直してほしい。 東日本大震災の時には、耳の聞こえる
人でも防災無線が聞こえにくかったと伺っております。災害時の情報伝達方法について防災
無線に頼らない仕組みを整えておく必要があると考えています。 避難所運営マニュアルが
あれば、一度障害者団体に開示してほしい。そうすれば、例えば「TV の字幕オン」など具
体的な支援策が見えてくると考えています。【府中市聴覚障害者協会】
- ・ 障害の違いによって、かかえる問題がそれぞれ違いますので、障害の特性を把握して
いただき、その障害に合った避難が必要です。多くは健常者と同じ避難所では生活するのは困難
と思われます。特に当会（筋ジストロフィー）には24時間人工呼吸器を使用している方も
いるため電源の確保が必須です。特別支援学校等を福祉避難場所として必要物品の確保等整備
していただきたい。【府中進行性筋委縮症協会】
- ・ 障害者及び家族も自分達でできる備えをしようと努力しています。力の及ばない部分につ
いて市で検討していただきたい。 避難所に行けない人への情報伝達手段の確保 救援物資
配布に対する配慮 要援護者名簿作成及び保管についての意見交換 地域防災計画、避難所
設営マニュアル作成に際して当事者及び家族の意見を聞く。【府中市肢体不自由児者父母の
会】
- ・ 行政だけでは手がまわらないと思うので自治会単位で助けあい、その時に行政と連絡を密
にできる状態にしておくとい。移動が一番の問題だと思う。障害者に対応するには1人で
は駄目ということを常に考えて行動、準備することが必要だと思う。【府中きすげの会】

・ 警察署、消防署、町会自治会等へ障害者の登録と病状の把握。 避難、救出の対応の周知徹底（パーキンソン病の患者は、体が頭で考えている通りの行動がすぐには取れず普通の人の倍以上の時間を要しますので緊急時等は、他の人の助けが必要です。） 障害者には緊急時用の笛（呼子）を持たせる、緊急医療キットを常設する。 緊急時用の避難、救出優先道路の設定と徹底。 避難場所の周知徹底。以上等【府中市パーキンソン病友の会（のぞみ会）】

問 8 現状では、障害を持つすべての方が必要なサービスを受けられる制度となっていない。障害者福祉制度の谷間にある方々に対する支援としてどのようなことが必要とお考えですか。

・ 生活する上で困っていることが、何らかの心身の機能の障害に基づいていることが医師により診断された場合は、困っていることを軽減させるための支援を既存のサービスを使って行えるようにできないか。障害種別は「その他」とする。既存のサービスでカバーできないときには、適切なサービスを新設する。市独自に行う財源がないときは、国に制度の改善を求める。【府中市精神障害者を守る家族会】

・ 問 11 と重複します。【府中市手をつなぐ親の会】

・ 所得制限を緩和して、サービスを受けられるように。【府中市身体障害者福祉協会】

・ 軽度発達障害の方々が相談に行けるように周知させて欲しい。【府中自閉症児・者親の会】

・ 支援策を考える為に、福祉の谷間にいる方々がどの程度いるのか推計を行うべきと考えられます。障害者手帳を取得できない人（基準以下）人生の途中で障害をもつようになった人、高齢による機能低下など、想定でもよいので検討すべきだと思います。その上で、そうした方々が孤立をしないよう、日常生活の様々な支援によく通じた方による、相談を行えるようにすべきと考えます。【府中市聴覚障害者協会】

・ 国や都の制度で受けられないサービスは市単独の制度として、できるだけカバーしていただきたいと考えています。市の制度でも谷間にある方々やかかえる問題を解決できない場合は、当会（患者会）や他の福祉団体、社会福祉協議会や自治会と地域におけるネットワーク作りが必要と考えます。是非そのネットワーク作りが個々にできるよう市としてサポートしていただきたいです。【府中進行性筋委縮症協会】

・ 障害福祉サービス等は障害者しか知らないというのが現状だと考えます。例えば、制度の変更などは広く一般市民に広報することにより社会全体の理解が深まり、谷間の方たちにも情報が届くようになるのではないのでしょうか。【府中市肢体不自由児者父母の会】

・ 障害を持つすべての人に必要なサービスを受けられるということはとても抽象的で、一番は1人1人の求めることをかなえてあげるのが、サービスを受けたと本人に感じるものです。制度の谷間にある方々には一対一の対応が必要と思われるが、民間のボランティアを多数募集して、対応していただくのがよいと思う。【府中きすげの会】

・ パーキンソン病患者に限って考えれば、ヤール、（ステージ、）の者には、障害者手帳等がもらえないのに障害者福祉ももらえない、同じパーキンソン病患者として将来完治することの無い難病に苦しみ、悩み、もがいている、病気程度の軽重で差を何故つけるのか、同等にしても良いと思うのだが以上訴え、担当者や世間の方々の理解と交渉を行う。【府中市パーキンソン病友の会（のぞみ会）】

問 9 障害者福祉向上のために、府中市民にもっと意識を持ってもらうようにするには、貴団体としてどのようなことができますか。

- ・ 精神障害者とその家族の実態について、話をする講師の派遣。 家族会運動や、精神障害者の法律制度の移り変わりについて話をする講師の派遣。【府中市精神障害者を守る家族会】
- ・ 団体としてできることは、現在休会中なので大したことはできませんが、多様な事業展開による啓発・PR 活動をしていきたいと考えています。【府中市手をつなぐ親の会】
- ・ 福祉のまちづくりの普及啓発。社会参加への支援。災害時要援護者の避難支援。【府中市身体障害者福祉協会】
- ・ 自閉症者の特性について説明したりすること。【府中自閉症児・者親の会】
- ・ 市民への啓発イベントへの協力（耳の聞こえないことの説明や手話の指導など）。 意思疎通支援を行う者の養成が市町村の必須事業となった。手話講習会の充実に向けてカリキュラムの見直し、指導の工夫など努力は惜しまないが、一方で市としても講習会の存在を広く市民に発信するなど啓発や養成の努力を続けてほしい。【府中市聴覚障害者協会】
- ・ 市民の方々にもっと意識をもってもらうにはやはり障害や病気に対する理解を深めてもらうことが大事だと思います。今までも参加してきた福祉まつりの参加はその１つでもあり、今後も継続していきたいです。また、新たにセミナーやイベントなど啓発活動への参加協力は可能と考えます。【府中進行性筋委縮症協会】
- ・ 市内で行われる様々なイベント（市が主催するもの以外も含めて）に、可能な限り参加する。地域のイベントのお知らせをいただけたら、会員に配布して周知することなどできると思います。【府中市肢体不自由児者父母の会】
- ・ 当団体は平均 78 歳で構成されている為、市民に意識を持ってもらう以前に自分が自立して生活するのが精一杯の為、働きかけは無理がありますが、全員が被爆経験がありますので、福島原発事故の将来が心配ですが、被爆体験を通じ、かたちの違う市民への意識を高められるのではないかと考えている。【府中きすげの会】

問 10 本年 4 月から施行された「障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）」では、「自立」の代わりに、新たに、「基本的人権を享有する個人としての尊厳」が明記されるとともに、障害福祉サービスに係る給付に加え、地域生活支援事業による支援を明記し、それらの支援を総合的に行うこととする、とされています。

貴団体では総合支援法の実施に伴い、何か不安や不満をお感じになっていることはありますか。

・個人としての尊厳が大切にされるような支援にするには、利用者一人ひとりの話を十分な時間をかけて聴き、個々の利用者の人生の希望や生活の目標を明らかにして、その実現に向けて協力することが必要とされます。個々人の向上心、自尊心、自信を強化するために、得意な仕事や趣味を見つける支援も必要です。従来の内職や掃除を低賃金でやらせるあり方は変えるべきです。【府中市精神障害者を守る家族会】

・障害者の自立および社会参加にとって、日常生活及び社会生活の支援が、共生社会を実現する。障害者の居住の居住の安全確保。安否確認や生活相談など。【府中市身体障害者福祉協会】

・障害程度区分認定調査に際して、わかりにくい困難さが認められ、適正な区分になるよう配慮して下さい。【府中自閉症児・者親の会】

・意思疎通支援事業において、聴覚障害者本人からの通訳派遣依頼が有料となり、生活を守るべき場面が出てくる可能性があるのではないかと心配している。【府中市聴覚障害者協会】

・何がどうかわるのかわからない部分があるのでパンフレットを配布し理解できるようにしていただきたい。【府中進行性筋委縮症協会】

・制度の変更が多く、現行のサービスが使えたり、使えなくなったりするので、混乱している人もいます。又、居宅介護の申請をしても、新規はなかなか認めてもらえないという声も聞いています。支給の基準を明確にさせていただくと共に、障害者本人にとってよりよい支援が受けられるようにしていただきたいと思います。*声の大きい人の要望を聞くということではなく、真に必要な支援をするということです。【府中市肢体不自由児者父母の会】

・当団体の支援がどのようになるのかよくわからないので、給付などはやはり減るようだと運営などに不安を感じる。【府中きすげの会】

問 11 府中市の障害のある人の施策に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

・ 一般市民を大切にするのと同じ敬意と熱意を障害がある人にも向けてほしいです。 深刻な人権喪失状態にある障害者の救済策は、他の施策に優先して実現を急いでほしいです。

【府中市精神障害者を守る家族会】

・ 就労支援の充実(就労のためのスキル向上を目的とする機関の設置) アウト・リーチ取組みについての財政的支援は可能ですか。 法的制度ではどのようなものがありますか。ご教示ください。 触法の障害者について、府中市として取り組んでください。 府中で把握している現状について、ご教示ください。 その対応は、どのようにしておられますか。ご教示ください。【府中市手をつなぐ親の会】

・ バリアフリー教育の推進。施設、設備の適正利用の推進。車いす使用者対応席を設ける。会場までのバリアフリー整備情報の提供。障害者が自立生活が出来る社会を。【府中市身体障害者福祉協会】

・ 特別支援学校等で重度自閉症児に手厚い支援をお願いします。 卒後の通所先、作業所等を確保して下さい。 子供発達支援センター事業で、希望者が利用出来るようにお願いします。【府中自閉症児・者親の会】

・ 2016 年から障害者差別禁止法施行(予定)に合わせて、府中市においても障害者差別禁止条例のようなものを準備して良いのではと思います。 自立支援協議会について、地方公共団体での設置、構成員に障害者の当事者を入れることなどが努力規定として求められているが、様々な障害者がいるため当事者を入れるだけでなく、定期的に障害者(当事者)の意見を聞く場を設けてほしい。【府中市聴覚障害者協会】

・ 財政面では厳しい中ではありますが、現状サービスや施策を他市並みに低下させるのではなく今までの府中らしさを継続していただくと共に、必要な施策は新しい要望に対しても積極的に取り組んでいただきたいと思います。(医療ケアが必要な人でも利用できるレスパイト)【府中進行性筋委縮症協会】

・ 来年 60 周年を迎える府中市で、これまで市と障害者が話し合って様々な施策ができてきました。その根幹には、障害福祉計画にあるように『障害があってもなくても、一人のしみんとして尊重される』方針があるからだと思います。財政面の課題はあると思いますが、全てを他市並みにと変更していくのは納得がいきません。府中市としての福祉に対する考えを明示し、それを実現できる施策を実行していただきたいと思います。【府中市肢体不自由児者父母の会】

——— ご協力ありがとうございました ———